

防府市庁舎建設懇話会設置までの経緯

現在の市庁舎は1号館と5号館を昭和29年に建設し、その後、2号館、3号館、4号館を増築するなどして、人口増加や行政需要の多様化に対応してきました。

しかし、施設の老朽化や耐震性への不安、防災・災害対策拠点としての機能不足、情報化やバリアフリーへの対応にも限界があること、さらには、庁舎の分散による市民の利便性の低下など様々な課題を抱えています。

中でも、耐震性については、平成23年度から24年度にかけて実施した現庁舎の第2次耐震診断では、1号館から5号館まで地震の振動及び衝撃により倒壊し、又は崩壊する可能性が指摘される結果となり、特に1号館については耐震補強も困難との判定を受けたことから、庁舎の建替えについての具体的な検討に入ることとし、平成25年度には市職員で構成するプロジェクトチームにより、基礎的事項を調査・整理しました。

庁舎建設事業では、一步一步、段階を踏んで議論を積み上げていくことが何より大切であるとの認識の下、平成26年度には検討の次なるステップとして、学識経験者や各種団体からの推薦者、公募による市民の皆さん方にお集まりいただき、庁舎建設に関して、様々な立場からの幅広いご意見をうかがう「防府市庁舎建設懇話会」を設置しました。